

# 薬学科

## 河野研究室 (薬物治療学)

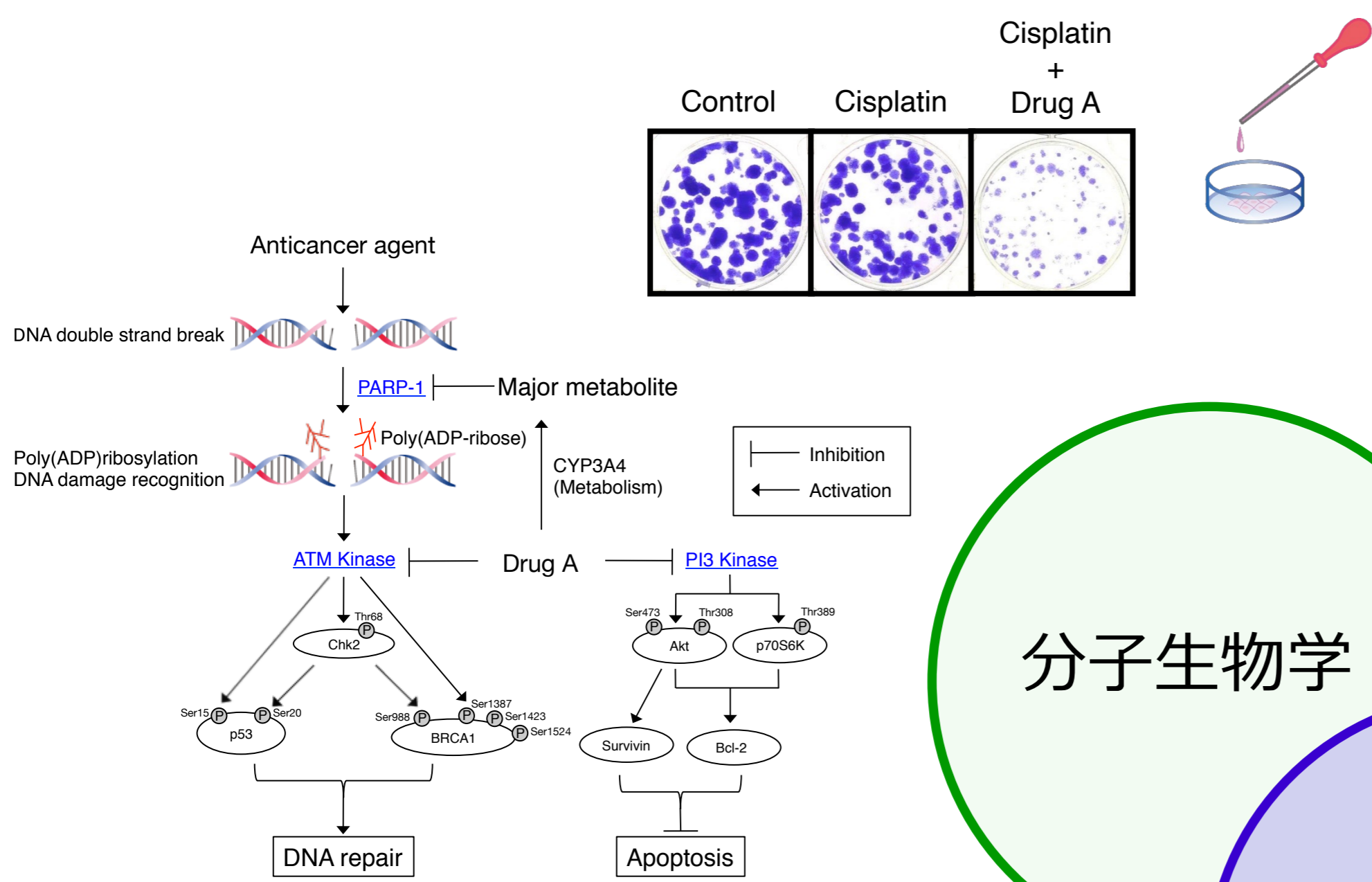
### よりよい薬物治療を目指して

当研究室では、医療現場における薬を使う上での問題点の解決方法や新たな使い方の探索研究を**基礎研究と臨床研究の両方の視点**から行っています。臨床薬学研究の醍醐味は、臨床現場で得た薬物治療における様々な疑問、問題点を追求し、薬物の特性を理解することで、これらがどのように生体に作用するかを明らかにすることです。こうして得られる知見は、新規薬物の創製 (創薬) や既存薬の適正使用または応用 (育薬) に貢献します。

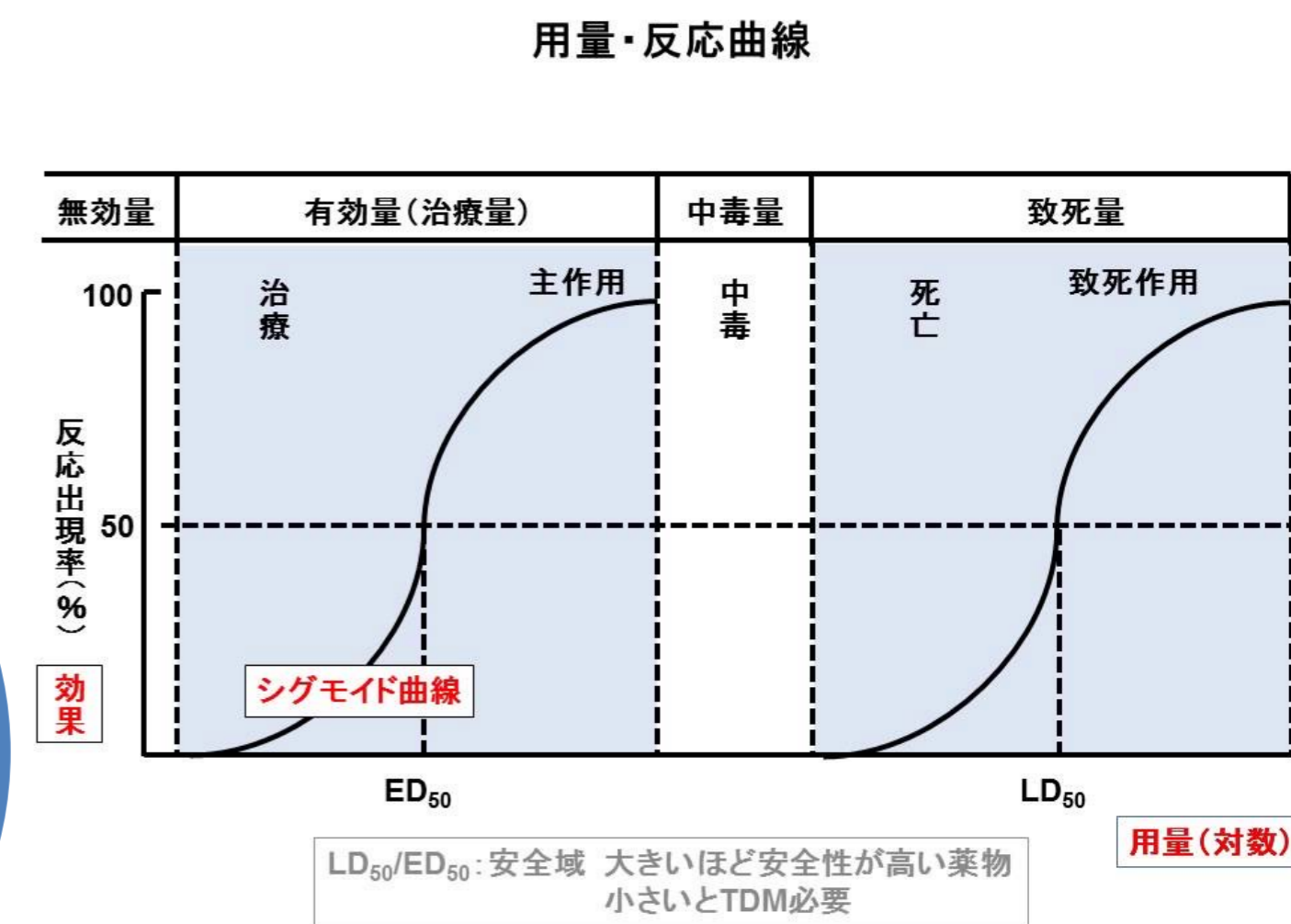
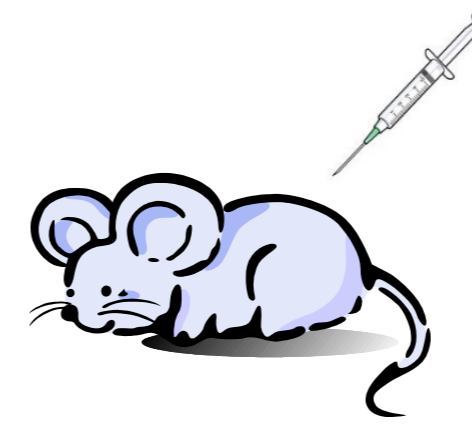
私達は、これまでに得た大学病院での薬剤師としての実務経験と研究経験を生かし、研究指導を通して**臨床と研究の両分野に精通した人材の育成に尽力したい**と考えています。

### 薬物治療上の疑問・問題点を解決するためには幅広い分野での研究が必要!

#### この薬の作用メカニズムは?



#### この薬はどんな疾患に どのくらいの濃度で効くの?



### 薬物治療学

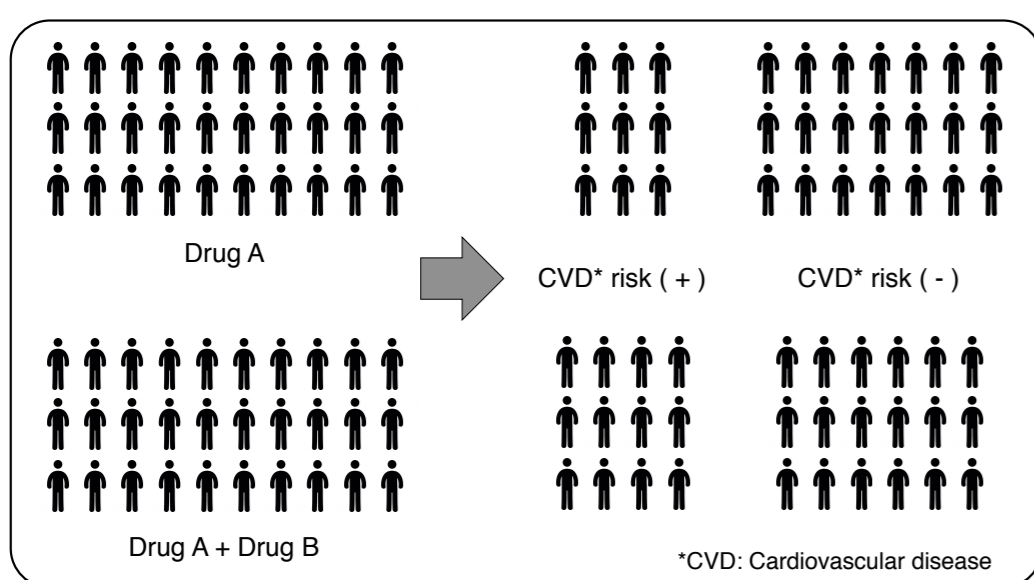
分子生物学

薬力学

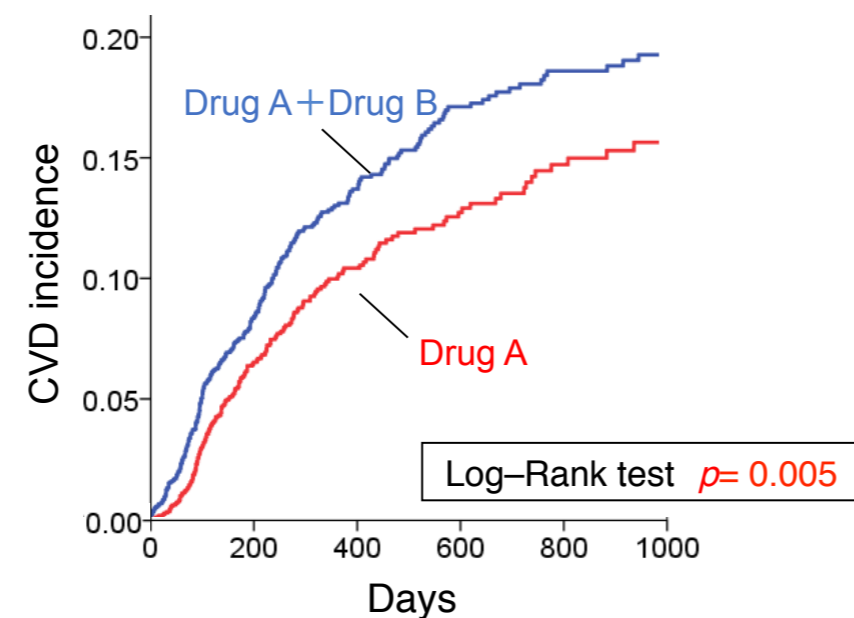
薬剤疫学

薬物動態学

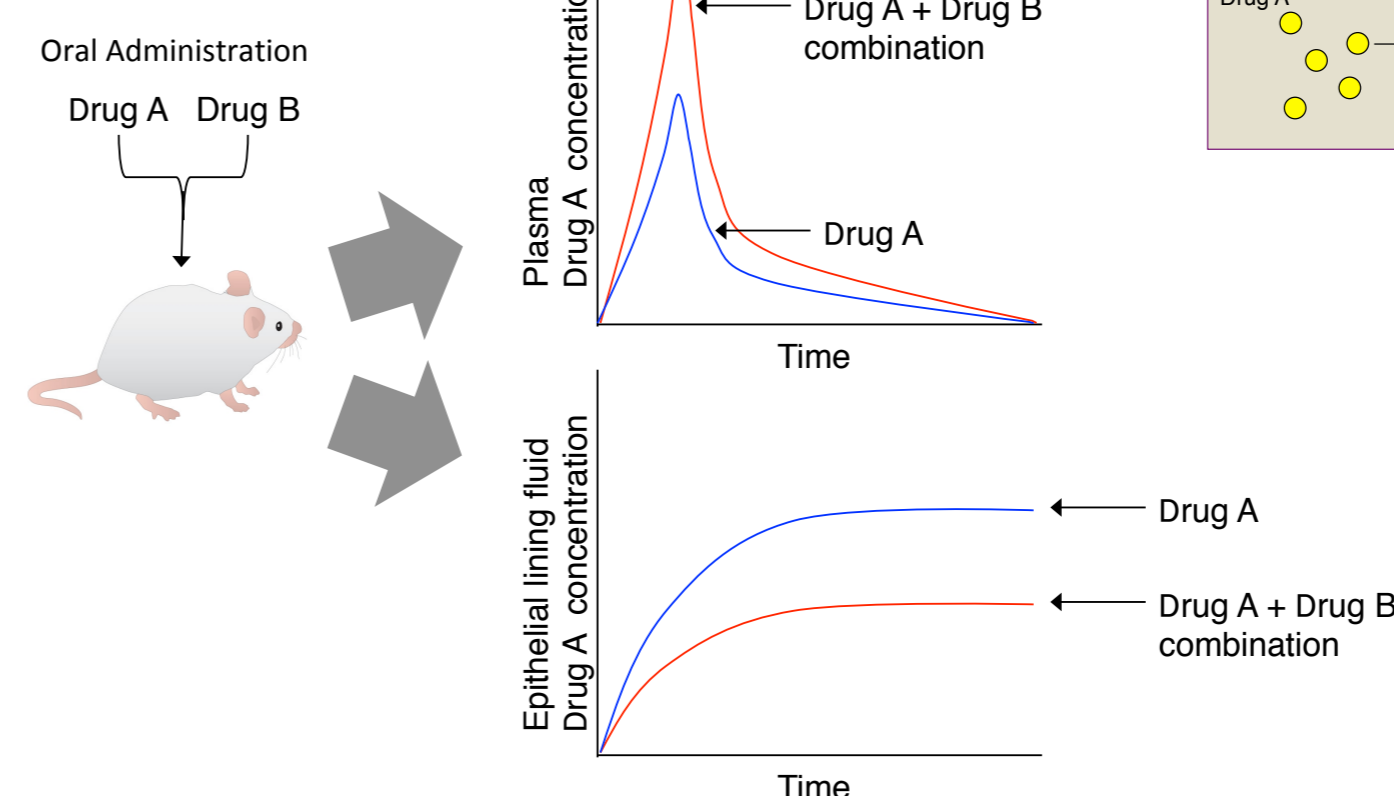
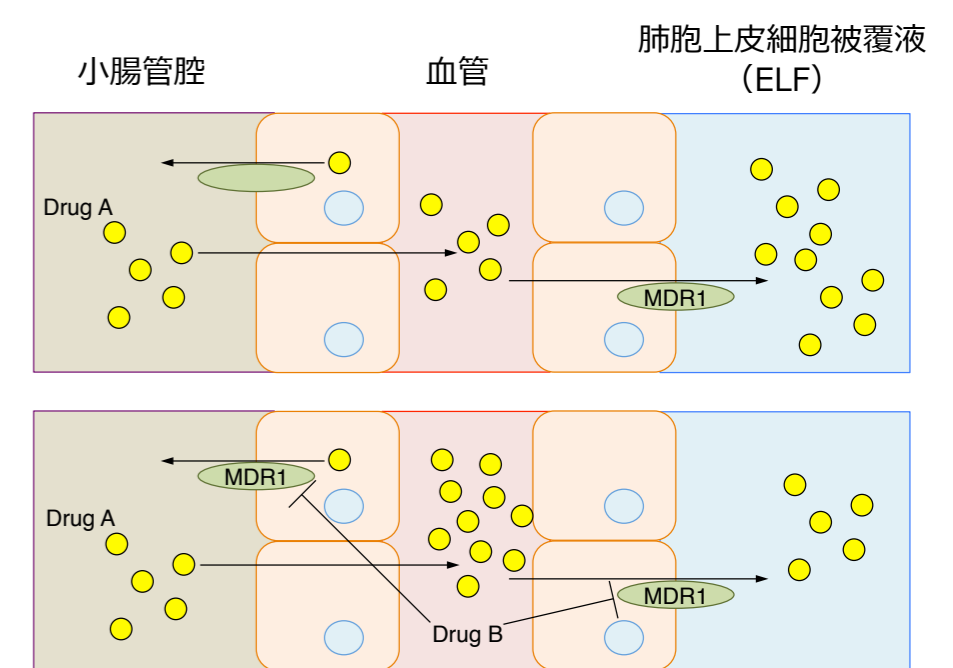
#### この薬を使うリスクと ベネフィットは?



	n	CVD incidence	Hazard ratio (95%CI)	P value	Adjusted hazard ratio (95%CI)	P value
Drug A	1,837	183	1		1	
Drug A + Drug B	1,292	206	1.53 (1.26-1.87)	0.000*	1.47 (1.20-1.79)	0.000*
Drug A + Drug C	97	12	1.24 (0.69-2.22)	0.477	1.29 (0.71-2.32)	0.401
Drug A + Drug D	53	7	1.28 (0.60-2.73)	0.516	1.15 (0.54-2.46)	0.711
Drug A + Drug E	22	2	1.06 (0.26-4.27)	0.937	1.17 (0.29-4.75)	0.829
Drug A + Drug F	31	4	1.49 (0.55-4.00)	0.433	1.56 (0.57-4.21)	0.386



#### この薬を投与した後の 体内濃度は?



#### 現在進行中の研究テーマ

##### <ドラッグリポジショニング>

- ・シスプラチン/カフェイン併用化学療法 of TNBC 治療への応用研究
- ・シスプラチン/カフェイン併用化学療法におけるカフェイン低感受性肝細胞がん細胞株の耐性メカニズムの解明
- ・尋常性ざ瘡に対するスピロラクトンゲルの効果に関する研究

##### <メディカルデバイス開発>

- ・生物学的医薬品の吸着を防止した新規輸液チューブの開発研究

##### <データベース研究>

- ・アスピリンの抗血小板作用に及ぼすNSAIDsの影響に関する研究
- ・経口抗がん薬治療における重篤な有害事象 (SAE) の発生状況及び薬剤師の介入効果に関する研究

##### <相互作用>

- ・NaSSAによる抗血小板作用と低用量アスピリンとの相互作用に関する検討